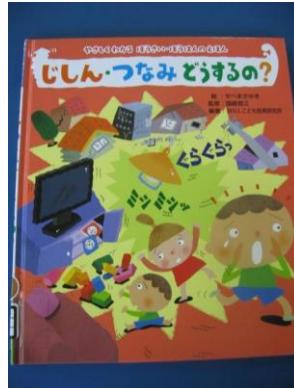


「ひかりの森図書館」だより

No. 10<令和元年9月9日>
京都市立東総合支援学校図書館

9月は防災月間です。防災に関連する本もご利用ください

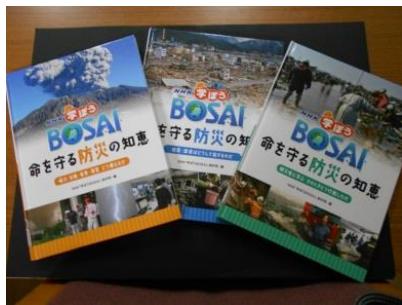


<やさしくわかるぼうさいのえほん>

<写真でわかる身を守る本>



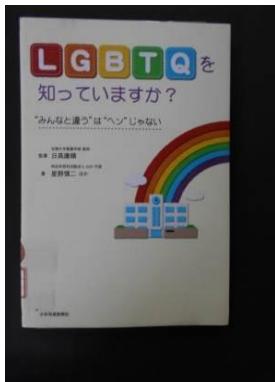
<防災に関する紙芝居・台風・地震・津波等>



<命を守る防災の知識を学ぶ本>

<まんがでわかる 防災の本>

図書館には、写真に紹介している本以外にも、防災にそなえるシリーズの本や危険予測シリーズ等の本もあります。避難訓練の事前や事後指導にもご活用ください。



多様な性について考えてみる本

『LGBTQを知っていますか?』 <少年写真新聞社> 星野 慎二著

この本は、自分の性のあり方について改めて捉えなおし、自分と違う性のあり方を持つ人のことを知るための本です。



『もっと知りたい! 話したい! セクシャルマイノリティ』の本

<汐文社> 日高 康晴著

自分は、どんな大人になるのだろうか。そもそも自分は、何者であろうか。どんな友達ができる、どんな出会いがあるのか。その時に期待したり、不安に思ったりいろいろな感情があることを理解し、子供たちが望む生き方に最大限寄り添うように精一杯応援してくれる本です。

第1巻 セクシャルマイノリティについて

第2巻 わたしの気持ち・みんなの気持ち

第3巻 未来に向かって

『いろいろな性、いろいろな生きかた』

<ポプラ社> 渡辺大輔 監修



LGBTとして、様々な生き方をしている人たちの生の声を数多く紹介。優しく表現されていて、小さな子どもたちにも理解が深まる本だと思います。シリーズで、

① いろいろな性ってなんだろう？

② だれもが楽しくすごせる学校

③ ありのままでいられる社会、
もあります。

* 「LGBTQ」って知っていますか？

L=レズビアン（女性同性愛者）

G=ゲイ（男性同性愛者）

B=バイセクシャル（両性愛者）

T=トランスジェンダー（体と心の性に違和感のある人）の総称です。

Q=クエスチョンズ（自分の性のあり方を探している状態にある人）

LGBTをはじめとするセクシャルマイノリティの児童生徒の存在をも十分に意識したうえで、どのような人権教育・健康教育が実践可能であるか考えてみましょう。